

国語科 小学校 5年

単元名 本は友達
「千年の釘にいどむ」
光村図書「国語五」

単元の流れ（全15時間）

【第1次】＜文章全体の概要をとらえる＞

第1時

- ・初発の感想を書き、学習の見通しを持つ。

第2時

- ・分からない言葉や新出漢字などに傍線を引きながら全文を通読する。
- ・新出漢字や難語句の意味など、必要なことを調べる。

第3時

- ・内容のまとまりを考えながら音読し、全体をいくつかのまとまりに分けて、小見出しを付ける。

【第2次】＜叙述に即して内容を理解する＞

第4時

- ・白鷹幸伯さんが千年前の釘にいどむことになった経緯を読み取る。

第5・6時

- ・「大きさ・材料」「形」「かたさ」に着目して、古代の釘の見事さを読み取る。

第7・8時（本時：第8時）

- ・白鷹さんの釘作りへの思いを読み取り、自分の考えをキーワードや字数制限の中で書きまとめる。

「活用」の力育成のために

自他の考えを聞いて思ったことを、キーワードや字数制限を使って書きまとめるようにする。

【第3次】＜自分で選んだ本を読み、読書会を開く＞

第9時

- ・「千年の釘にいどむ」の振り返りをする。また、紹介する本のテーマを考え読書会の計画を立てる。

第10・11時

- ・自分で選んだ伝記を読み、目的に合うように感想をまとめる。

第12・13時

- ・考えたことや自分の意図が伝わるように話の組み立てを考えて原稿を書いたり、話す練習をしたりして読書会の準備をする。

第14時

- ・読書会を開いて、自分が読んだ伝記について自分の思いや考えが伝わるように紹介をする。

第15時

- ・単元全体の学習を通して深まったことなどを交流してまとめをする。

単元目標

いろいろな読み物に興味を持って読み、友達と感想を話し合って考えを深める。

単元構成の意図

本単元では、読書を通して感じたことや考えたことを書く活動に取り組む。読み取りの力を高めるために、白鷹さんの言葉や釘作りの工夫にサイドラインを引いて気付かせる。また、読み取ったことをペアや全体で交流させて、考えを深めたことを書きまとめさせたい。



「活用」の力を育てるポイント

自分の考えを持ち話し合いをすることにより、自他の考えを比べながら読み取ることができるようにする。

叙述や表現を根拠に、自分の考えを整理して考えたり書いたりできるようにする。

話し合いを通して、発表の仕方を工夫して交流できるようにする。

すぐれた叙述を味わい、文章の構成や文章中の言葉を自分の表現に使うことができるようにする。

「活用」の力育成のために

自分が選んだ伝記の人物について、したこと、生き方、そこから学んだことを書きまとめるようにする。（ポイント）

HOME

本時の流れへ

授業展開例へ

評価問題